

インターネット動画で学ぶ『もっと知ってほしい多発性骨髄腫のこと』 特設ウェブサイト作成 視聴用動画を無料公開

認定NPO法人がんセンターネットジャパン（以下、CNJ）は、がん医療について科学的根拠に基づいた正しい情報を提供することを目的に、名古屋市立大学病院 血液・腫瘍内科の飯田真介先生監修のもと、インターネット動画で学ぶ特設サイト「もっと知ってほしい多発性骨髄腫のこと」を作成いたしました。

このウェブサイトでは、血液のがんである多発性骨髄腫の治療を専門とする医療者が、疾患の基本情報と治療方法、検査や効果判定等について、患者と家族へ向けて分かりやすく解説した映像を無料視聴できます。

人口の高齢化に伴い多発性骨髄腫の罹患者数は年々増加しており、50歳を超えると急激に増え、2014年の報告によると年間4,185人が死亡している根治が難しいがんです。

臓器障害がないくすぶり型（無症候性）の場合は治療不要ですが、多くの患者は治療開始のタイミングを気にしつつ不安を抱えて日常生活を送っています。貧血、骨病変や腎障害などを呈する症候性へ進行すると抗がん剤治療が必要で、既に治療を受けている患者も、常に最新の治療情報を求める声の大きいのが現状です。多剤併用の治療法が複数あり、年齢によっては自家移植を複数回施行する場合もあるため、幅広い治療情報が求められています。



多発性骨髄腫の治療進歩は目覚ましく、次々と新規薬剤が認可されています。近い将来には更に効果のある新規治療が受けられるようになると期待されていますが、どのような治療選択をしていくかについては、患者本人が疾患や治療法について深く理解することが何より大切です。

高齢患者の場合は、あらゆる情報を家族が理解しておくことも必要です。ついては、この動画を患者や家族が主治医とのより良いコミュニケーションを築くためのツールとして役立ててほしいと願っています。

認定NPO 法人がんセンターネットジャパン

1991年に、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布したことに始まり、以来、FAX、Eメールによるセカンドオピニオンサービス、NCIPDQの翻訳Web公開（現在は終了）等で標準治療の普及に貢献してきた。2001年にNPO法人化、同年ホームページが日経インターネットアワードを受賞。2007年からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が、自分らしくがんに向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。

【もっと知ってほしい多発性骨髄腫のこと お問い合わせ】

認定NPO 法人がんセンターネットジャパン

担当: 古賀真美 koga@cancernet.jp

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073